



## 6次産業化実践アドバイザー派遣制度

岐阜県農政部 農產物流通課

農林漁業者自らが生産物の加工や販売までを行う「6次産業化」は、農林漁業者の所得向上を図る上で有効な手段です。県では、新たに6次産業化を目指したい方や既に6次産業化に取り組んでいる方を対象としてアドバイスを行うことができる「6次産業化実践アドバイザー」制度を創設し、平成23年9月28日から運用をはじめました。

「6次産業化のメリットって何?」「6次産業化するための資金はどうすれば良いの?」「今、売っている商品をもっと売れるようにするにはどうしたら良いの?」といった疑問や課題をお持ちの農林漁業者の方々は、是非ご活用ください。

### 6次産業化実践アドバイザーの派遣申請方法

6次産業化実践アドバイザーの派遣を希望する方は、派遣申請書に必要事項を記入のうえ、下記まで提出してください。派遣申請書は県のホームページからダウンロードできます。インターネットの利用が困難な方は、連絡いただければ郵送又はFAXにてお送りします。

(1)提出先:〒500-8570 岐阜市薮田南2-1-1 岐阜県庁農政部 農產物流通課 地産地消担当(青谷・中村)

TEL: 058-272-8418 (直通) FAX: 058-278-2682

E-mail: c11444@pref.gifu.lg.jp

\*ホームページは、「岐阜県 6次産業化」で検索してください。

(2)提出方法:電子メール又は郵送、FAX (3)申請書受付期間:随時

(4)派遣に係る費用:無料(同一申請者につき3回目までは無料です。4回目以降に係る費用については申請者の負担となります。)



教えて!  
Q&A

**Q.** 農地法の下限面積が見直されたと聞きましたが、その内容を教えて下さい。

**A.**これまで、農地法3条による農地の売買・貸借に当たっては、下限面積(最低経営面積、農業委員会毎に10a~50aに設定)が設けられており、その引き下げは県知事の判断となっていました。しかし、法改正により農業委員会の判断で別段面積を定め引き下げることが可能になるとともに、毎年その面積の協議を行うことになりました。



### 研修・セミナー等の開催のお知らせ



#### 1 アグリマネジメントカフェ 2011

日 時 平成23年12月20日(火)13:00~  
会 場 岐阜市・岐阜都ホテル  
対 象 農業法人等経営者、従業員 等

主な内容

- 1.「税制改正と法人税務のポイント」  
東京都 森税務会計事務所長 森 剛一 氏
- 2.「ディズニーモチベーション向上施策のツボ」  
(株)ヴィジョナリー・ジャパン 德 源秀 氏

#### 2 岐阜県農業担い手研究大会

日 時 平成24年2月13日(月)13:00~  
会 場 岐阜市・岐阜都ホテル  
対 象 農業委員、認定農業者等担い手 等

主な内容

1. 情勢報告 岐阜県農政部長 平工 孝義 氏
2. 実践報告 (株)菜っちゃん 後藤 展子 氏
3. 講演 千葉県(農)和郷園 木内 博一 氏

編集  
発行

岐阜県農業会議 会長 今井 良博 岐阜市薮田南5-14-12 岐阜県シンクタンク庁舎2階  
☎ 058-268-2527 FAX:058-273-6177 E-mail:gifu@nca.or.jp ホームページ:<http://www.gifu-agri.jp>



photo: 中津川市千旦林の農家レストラン「バーバーズダイニング」

### 女性農業者たちによる農家レストラン経営 — 手作りの田舎料理に人気 —

中津川市の中央自動車道の中津川インターに隣接する「ちこり村」の中にある農家レストラン「バーバーズダイニング」は、地元の農産物を利用した80種類以上の総菜が並ぶバイキング形式のレストランです。ここを運営するのは、地元の女性農業者で組織している(株)菜っちゃん。代表取締役を務める後藤展子さんは、地元のお茶生産農家で、市農業委員としても活躍中です。

12月で開店5周年を迎え、「安心して食べられる地元食材の提供」がモットーで、店内には季節毎に旬の食材を使用した郷土料理を中心としたメニューが並び、ランチバイキングには多くの家族連れや女性グループなどで、約130席がほぼ満席になるほどの人気ぶり。

社員の平均年齢が50歳代の「バーバーズ」は、みんな孫がいるおばあちゃんの意味から命名したといいます。メニューは社員がアイディアを出し合って決めており、米や野菜、大豆等の農産物のほとんどを地元食材で調達し、「味は良いのに形が悪く出荷できない野菜も、自分たちが料理することでおいしい料理に変えられる」と、社員達は料理に自信をもっています。開店以降、県内外の多くの女性農業者グループや農業委員等の視察を受け入れており、数多くのマスコミにも取り上げられ、また、代表の後藤さんは他県からも講演依頼があるほど、同社の取り組みは全国的にも注目されています。

#### お店の情報

住 所: 中津川市千旦林1-15「ちこり村」内「バーバーズダイニング」  
TEL: 0573-66-7113

## 「行動する農業委員会」をめざして

<期待される農業委員の役割>

### 岐阜県農業会議

今年7月に、3年に1度の農業委員統一選挙が実施され、本県においては、43農業委員会のうち35農業委員会で改選されました。その結果、総農業委員数900人（前回対比22人減）となり、うち新任は約半数。また、女性農業委員は9人増の38人となりました。

今後3年間の新たな農業委員会の体制がスタートし、農業者の公的代表である農業委員会は、農地の監視活動や農業者の相談活動を中心に「行動する農業委員会」として、遊休農地の発生防止や解消、優良農地の確保と有効利用、担い手の育成・確保などへの積極的な取り組みが求められています。

特に、昨年度から新たに農業委員会の法令業務として追加された「農地利用状況調査」は、全農地の利用状況を毎年現地調査し、遊休農地の発生防止と解消対策のほか、違反転用等の防止・是正等を行うこととなり、農業委員会の重要な業務として位置づけられたところです。このため、全農業委員で実施する現地調査とその結果を踏まえた優良農地の確保の取り組みに対して、大きな期待が寄せられています。

### 農業委員の主な業務



問い合わせ

■岐阜県農業会議 総務課（西川、田中）

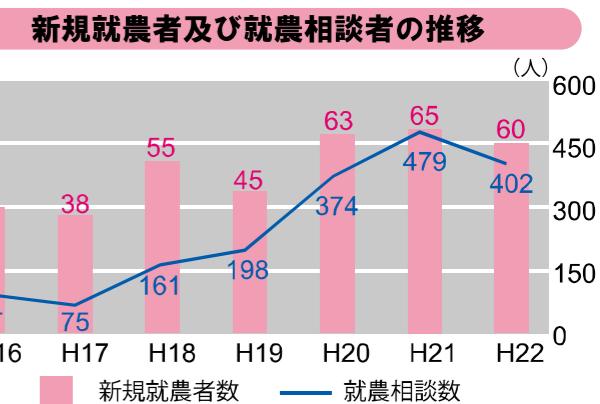
☎ 058-268-2527

## 県における新規就農支援対策について

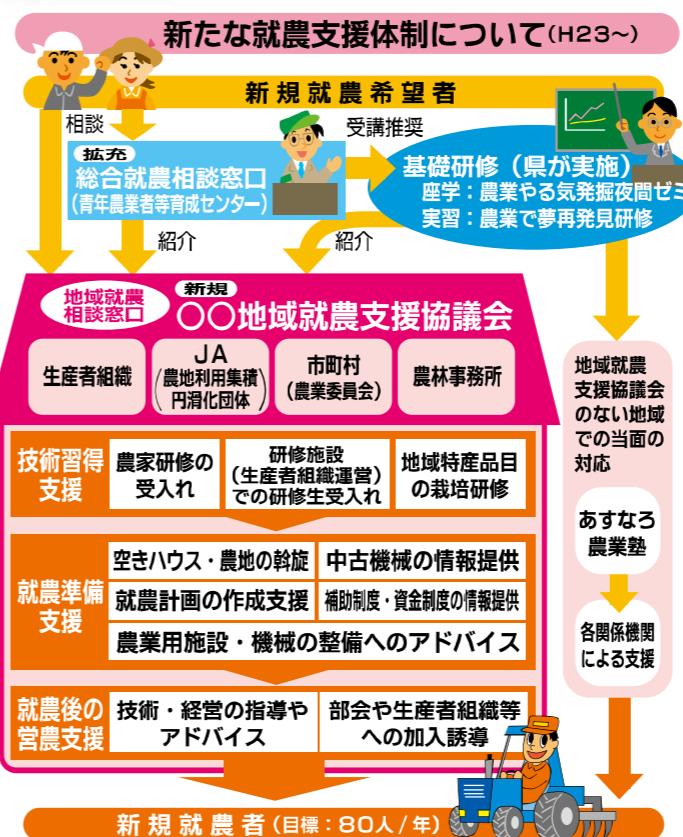
岐阜県農政部 農業経営課

### 1 新規就農者育成・確保の現状と課題

県内における基幹的農業従事者のうち65歳以上の占める割合は7割を超えており（2010年世界農林業センサス）、県農業の維持・発展のためには、早急に新規就農者の育成・確保を進める必要があります。その一方で、就農を希望する方は増加傾向にありますが、そのほとんどが就農に必要な技術・資金・農地等を持ち合わせていない者で、就農定着に至る者は数少ないのが現状です。



### 2 就農相談から営農定着までを一貫してサポートする就農支援体制の整備



県では、県内各地域に就農希望者に対して就農相談から営農定着までを一貫してサポートするための「地域就農支援協議会」の設立を支援していくこととしています。また、その実現に向けて、地域就農支援協議会の設置・運営に必要な経費の一部を助成する「地域就農支援活動サポート事業」を今年度より実施しています。

**【地域就農支援活動サポート事業（県補助金）】**  
「地域就農支援協議会」の設置・運営に必要な経費の一部を助成  
**助成内容（平成23年度）**  
○事業主体：市町村、JA、地域協議会等  
○補助率：1/2以内（上限：1,200千円）  
○対象経費：  
・協議会運営に必要な就農専門員人件費  
・研修実施に必要な指導経費・賃借料等

その他、就農支援研修事業として「新規就農者育成事業」を公募により実施しています。この事業は、新たに農業経営を始めようとする就農希望者を雇用し、農作業等を通じての就農支援を行う取り組みを農業者等に委託実施するもので、県からは研修生の雇用賃金等が委託費として支給されます。詳しくはお問い合わせ下さい。

問い合わせ

■岐阜県 農業経営課 就農支援担当（犬飼）

☎ 058-272-8421